

2025 年 登録ランドスケープアーキテクト（RLA）資格認定試験

二次試験（その１） 問題・解答用紙

注 意 事 項

- ① 二次試験（その１）は、No.1、No.2 の２問で、解答時間は２時間10分（130分）です。
- ② 問題用紙（下書き用紙含む）は、No.1 が２枚、No.2 が２枚で合計４枚です。
解答用紙はNo.1 が１枚、No.2 が１枚で合計２枚です。
- ③ 問題は全問必須ですから、２問すべてに解答してください。
なお、配点はNo.1 が20点、No.2 が20点で、40点満点です。
- ④ 解答用紙の全ページに受験番号をご記入ください。
- ⑤ 問題用紙、解答用紙はのり付けを切り放して使用してください。
- ⑥ 解答は、解答用紙に黒の鉛筆、シャープペンシル、またはペン等で記入してください。
下書き等に色を使用してもさしつかえありませんが、色を使った表現を解答した場合はその表現はすべて採点対象外となります。また、下書き用紙への記述はすべて採点対象外です。解答は解答用紙のみ記入してください。
- ⑦ 問題用紙の余白、下書き用紙は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙には、計算等解答に関係のない記述はしないでください。
- ⑧ なお、二次試験（その１）は、No.1、No.2 のそれぞれの採点結果を合計して評価いたします。
いずれかの採点結果が著しく低い場合は合格に至らない場合があります。
- ⑨ 試験終了後は、解答用紙をページ順に並べ、机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままお待ちください。
- ⑩ 問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No. 1 土地利用ダイアグラムを作成しなさい

(配点：20 点)

■出題テーマ

地域産業や自然資源を活かした、賑わいと交流のあるまちづくり

■課題

計画対象地は古くから海運や交易、漁業で繁栄し、広域交流都市としても発展を続けてきた。また、世界的にヒットしたアニメーション作家の出身地でもあり、近年では国内はもとより海外のアニメファンによる聖地巡礼と称する訪問客が多くなっている。

こうした状況を踏まえ、次に示す計画地の現状と現況図を読み解き、出題テーマを踏まえたまちづくり計画の方針を述べるとともに、方針に沿った土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

設問1：解答用紙の解答欄①～④に示した項目について、枠内に記述しなさい。

設問2：凡例を参考に土地利用ダイアグラムを作成しなさい。図中に設問1（解答欄②～④）で記述した拠点、ゾーン、軸またはルートを表示し、その名称を添えること。（○○拠点、○○ゾーン、○○軸等）
なお、拠点やルート等の整備に伴う現状の道路形状や土地利用の変更、建物の改修は可とする。

■計画地の現状

1. 市街地の状況

- ☐ フェリーターミナルならびに鉄道駅1から鉄道駅2を中心に商店街や行政機能が集積している。かつては賑わいを呈したが、モータリゼーションの進展や郊外の大規模ショッピングモール開業等の影響を受け、空き店舗や空き地が目立つようになっている。
- ☐ 観光商店街には当地出身の作家にちなんだアニメキャラクターのモニュメントが複数設置されており、多くの観光客が訪れているが、回遊性が低く、消費活動が活発でないことが課題となっている。
- ☐ 史跡公園にある灯台は現役で国の重要文化財にも指定されている。
- ☐ 古くから漁業が盛んで国内でもトップクラスを誇る水揚げ量がある。
- ☐ 海岸沿いの国道は道幅が広く地元住民が利用する物販店舗や飲食店が並んでおり、開放的ではあるが殺風景な景観で港町の風情に欠けている。

2. 開発計画

- ☐ 鉄道駅2から鉄道駅3にかけての南側一帯は閑静な住宅地が広がる。各自治会において街路に草花を植える活動が盛んに行われている。
- ☐ 開港100周年を記念して、港に面して砂浜がある海浜公園と展望タワーが整備された。倉庫跡地には明治時代末期に作られたレンガ造の倉庫が複数残されており、活用の検討が進められている。
- ☐ 漁業とともに水産加工業も盛んであり、水産加工業が集積した工場地帯が広がる。行政は周辺の農産物とあわせ、倉庫跡地を食品加工業の拠点として産業の活性化を図る計画を進めている。
- ☐ 少子高齢化による学校統廃合により、廃校跡地を利用した地域活性化につなげる施設整備計画がある。

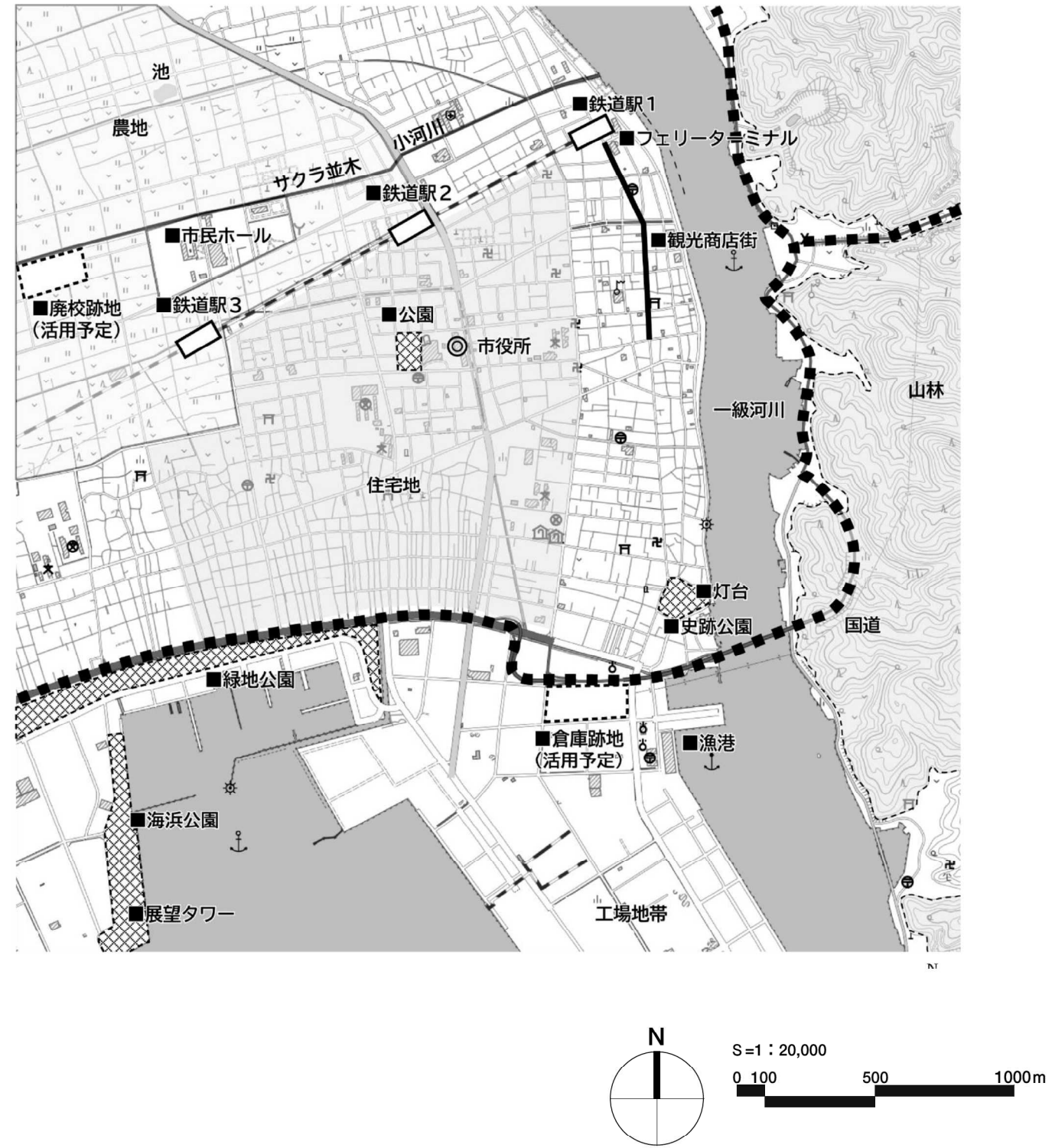
3. 環境・レクリエーション

- ☐ 一級河川の東側の山には山林が広がっている。山林にはヤマモミジが多数あり、秋には対岸側から紅葉の景観を楽しむことができる。
- ☐ 市街地の北側には農地が広がり、調査から様々な動植物の生息・生育が確認されている。農地の間を流れる小河川には地元住民が植えたサクラ並木があるが地元住民が利用できる散策路が整備されていない。
- ☐ 住宅地の中心部にある市役所に隣接している公園は老朽化しており地元住民の利用頻度は年々低くなっている。

■解答における留意事項

- ☐ 出題テーマや地形等の与条件を読み取り、ランドスケープアーキテクトとして求められる自然や景観を活かした計画を提案し、分かりやすい表現での土地利用ダイアグラムの作成を行うこと。

■現況図



No. 1	土地利用ダイアグラム	1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect
	問題用紙	2	

設問 1. 以下の①～④について、解答しなさい。

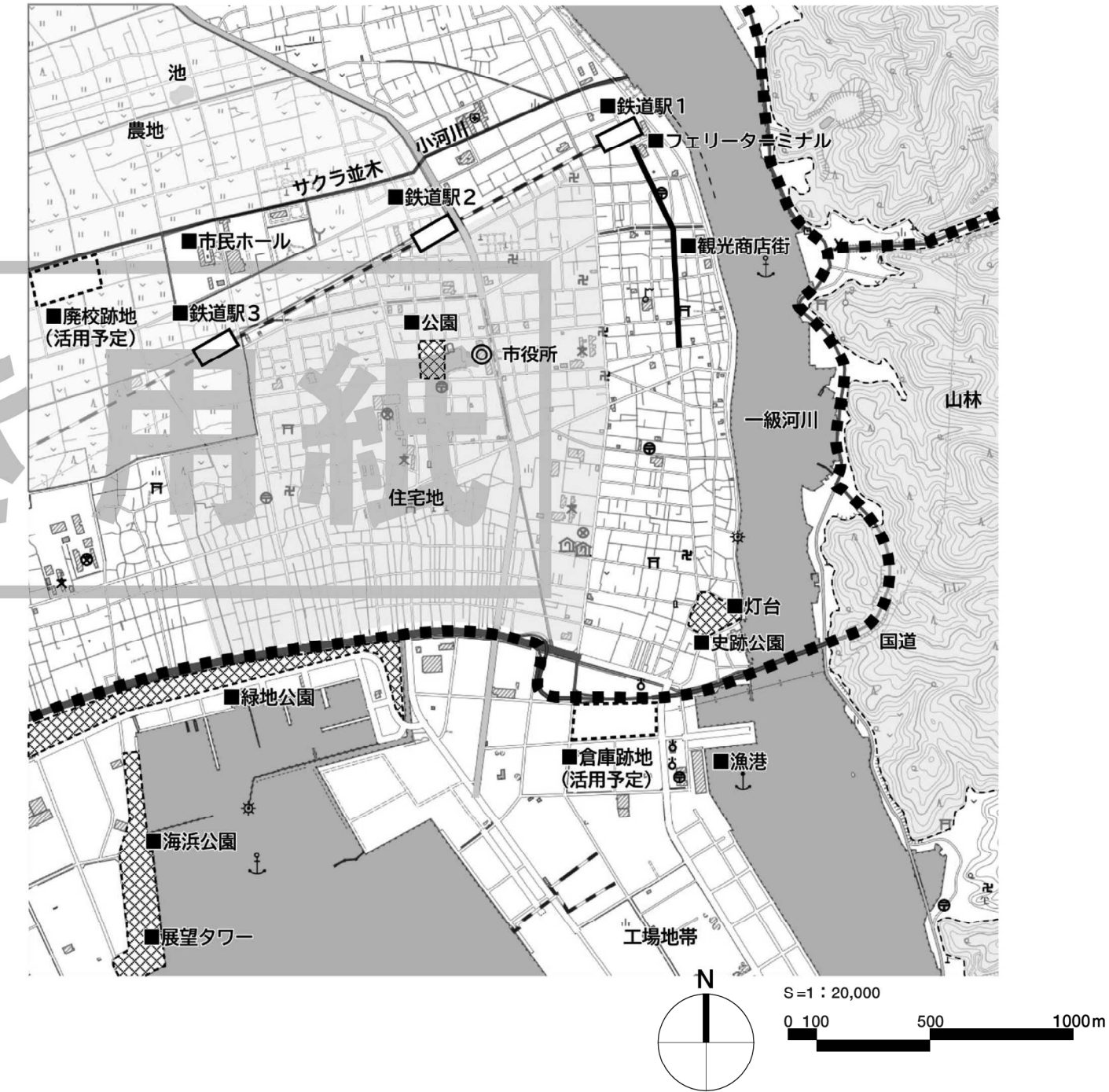
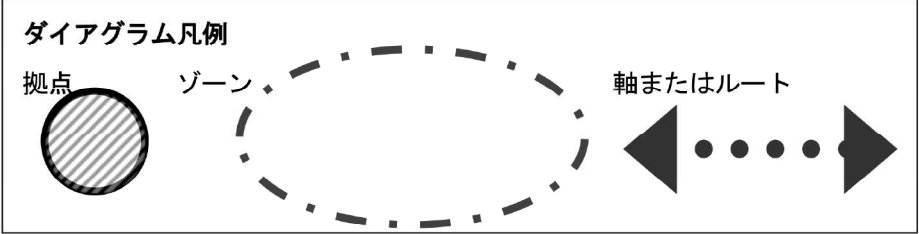
① 出題テーマに沿って、『地域産業や自然資源を活かした、賑わいと交流のあるまちづくり』の方針について、目指す方向性や導入機能を記述しなさい【2項目】

② 地域産業や自然資源を活かした「拠点」を3箇所設定し、それぞれの名称とその整備内容を記述しなさい【3箇所】

③ 出題テーマにつながる「ゾーン」を4箇所設定し、それぞれの名称とその整備内容を記述しなさい【4箇所】

④ 出題テーマにつながる「軸またはルート」を3つ設定し、それぞれの名称とその内容を記述しなさい【3つ】

設問 2. 設問 1 で記述した「拠点」、「ゾーン」、「軸またはルート」を、下記の凡例に示す表現をもとに図示し、その名称を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。



No.	土地利用ダイアグラム	2	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	解答用紙ではありません
	問題用紙(下書き用紙)	2		

No. 2 敷地計画図を作成しなさい (配点：20 点)

■出題テーマ
郊外ニュータウンにおける子育てや防災に配慮した公園計画

■課題
計画対象地は、郊外ニュータウンの玄関口である鉄道駅近くに位置している。このエリアは近年の宅地開発により子育て世帯の人口が増えていることから、将来のさらなる人口増加を想定し、子育て支援や防災・減災まちづくりを推進するモデル都市として、子育て支援センターや防災機能強化を目的とした施設の整備が進んでいる。また、当該市の緑の基本計画では、ネイチャーポジティブの実現にむけて開発前から残された自然環境を守り、周辺緑地との緑のつながりを活かした都市計画が求められている。

本計画はその一角である公共施設跡地に、自然環境に配慮するとともに子育て支援や防災機能の強化を目的とした公園（敷地面積約7,400㎡）を整備するものである。

設問 1．凡例に示す建築棟とその付帯を含む施設を平面図に配置しなさい。

設問 2．計画条件に示すマンホールトイレや手押しポンプ、貯水槽などの諸施設を平面図に配置しなさい。

設問 3．上記の計画について配慮した事項と計画条件で指示された施設配置の考え方について簡潔に記述しなさい。

- 敷地条件
- ☐ 敷地南側は幹線道路となっており、緊急車両の通行路となっているほか、並木のある歩道が整備されている。
 - ☐ 幹線道路を挟んで南側はカフェなどが入る商業施設が、南東側には保育園が立地する。
 - ☐ 敷地北側には周囲の公園を結ぶ緑道があり、緑道を挟んだ北側は戸建て住宅地である。
 - ☐ 敷地西側は病院と接しており、災害時は公園との連携が求められている。なお、病院の公園側1階はコミュニティスペースとして使用されている。
 - ☐ 敷地東側には幹線道路と交差する並木のある歩道が続き、周辺住宅地への主要な歩行者動線となっている。
 - ☐ 敷地の地形は中央部がやや高くなっており、全体では南側から池に向かって水勾配程度の傾斜がある。
 - ☐ 敷地内の北西側には以前から残る既存樹林と池がある。
 - ☐ 敷地内には各所に既存樹が残されており、それらを活かした計画が求められている。

- 計画条件
1. 建築棟
- ☐ 地域の動線や施設との連携に配慮した場所に、子育て支援の拠点となる建築棟（解答用紙参照）を配置すること。
 - ☐ 駐車場（普通車 8 台、車椅子対応1台）と車路を建築棟に隣接させ計画すること。
 - ☐ 施設利用者用の駐輪場（20台分）を建築棟と隣接させ歩道からのアクセスに配慮し設置すること。（凡例参照）
2. 芝生広場
- ☐ 地形を活かした約2,200㎡の芝生広場を計画すること。災害時には約1,100人の一時避難場所となる。
3. 舗装広場
- ☐ 災害時に道路から緊急車両の乗り入れ（幅員6m以上）が可能な約600㎡の舗装広場を配置すること。
 - ☐ 災害時に広場が被災者のトリアージスペース（受入れ場）としても機能することを前提に計画すること。
4. 防火樹林
- ☐ 北側住宅地からの延焼を防止するため幅員 8 m 以上の防火樹林を配置すること。
 - ☐ 樹林内に敷地外への出入口と動線を2箇所以上設けること。
5. 子ども遊び場
- ☐ 保育園や地域の子どもたちが利用できる約300㎡の子ども遊び場を配置すること。

6. 街かど広場
- ☐ 公園に隣接する歩道から直接アクセスできる約500㎡の広場を配置すること。
7. 既存池（ビオトープ）
- ☐ 既存池（水面の標高＝20.5m）を地域の樹林などの自然環境と連携したビオトープとして計画すること。
 - ☐ 池の水際にある自然観察用の既存デッキを活用した計画とすること。
8. 園路
- ☐ 敷地北側緑道と南側歩道を結ぶ動線を2経路以上敷地内に確保するとともに、各施設を周遊できる幅3m以上の園路を配置すること。なお、動線は建築棟デッキや敷地外の歩道を兼用・経由して良い。
9. 植栽、防災施設、その他
- ☐ 計画する各施設や敷地周辺の環境と機能に応じて、植栽と休憩施設（ベンチなど）を配置すること。
 - ☐ 災害時の運用を考慮して、マンホールトイレ10基及び耐震性貯水槽 1 基を凡例に従い設置すること。
 - ☐ 災害時は炊き出しスペースとして利用できるよう、かまどベンチ、手押しポンプ設置スペースを凡例に従い配置すること。

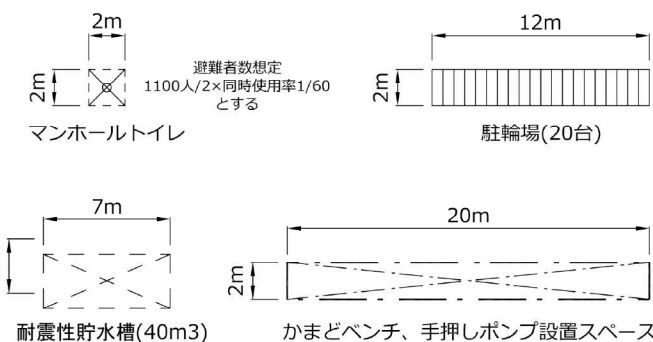
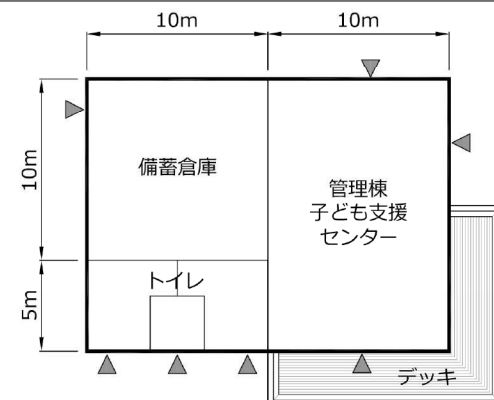
- 解答における留意事項
- ☐ 建築棟は解答用紙に示した凡例に従い、図示すること。図示する内容は、解答用紙に示されている外郭線（外壁を示す太線とデッキ位置を示す太点線）と出入口記号、室名のみで良い。
 - ☐ 耐震性貯水槽は地中に埋設するものとし、その位置と形状がわかるように凡例の通り明記すること。
 - ☐ 各計画施設は、凡例を参照し、概要が分かる程度の表現で良いが、必要に応じて寸法や面積等を記入すること。
 - ☐ 敷地計画図として適切で分かりやすく見やすい図面表現とすること。



No. 2	敷地計画	1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	
	問題用紙	2		

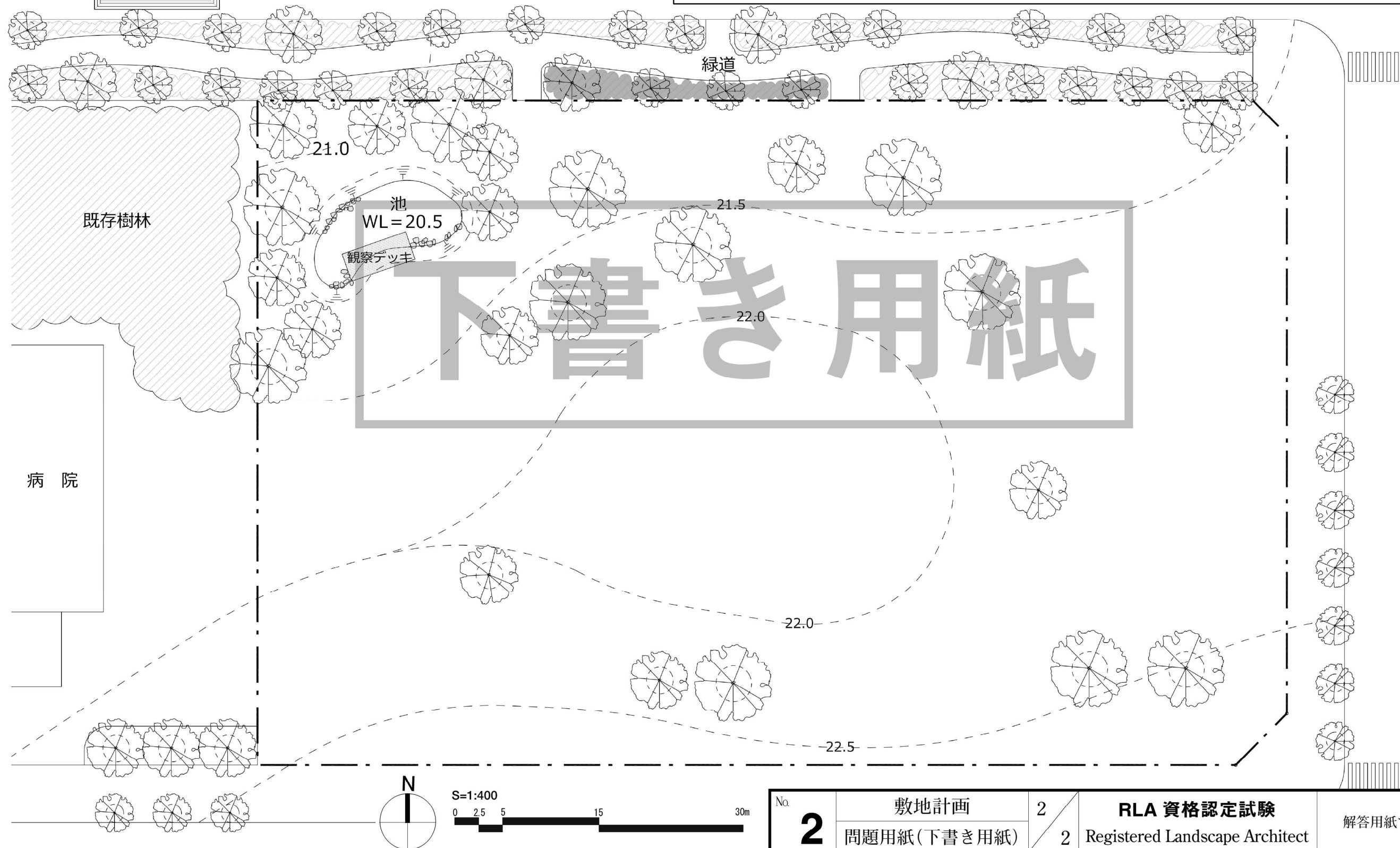
建築棟（平面図）※建築は自由に回転させて良い

凡 例



(計画について配慮した事項)

(施設配置の考え方)



S=1:400



No.

2

敷地計画

問題用紙(下書き用紙)

2

2

RLA 資格認定試験

Registered Landscape Architect

解答用紙ではありません

設問 1. 以下の①～④について、解答しなさい。

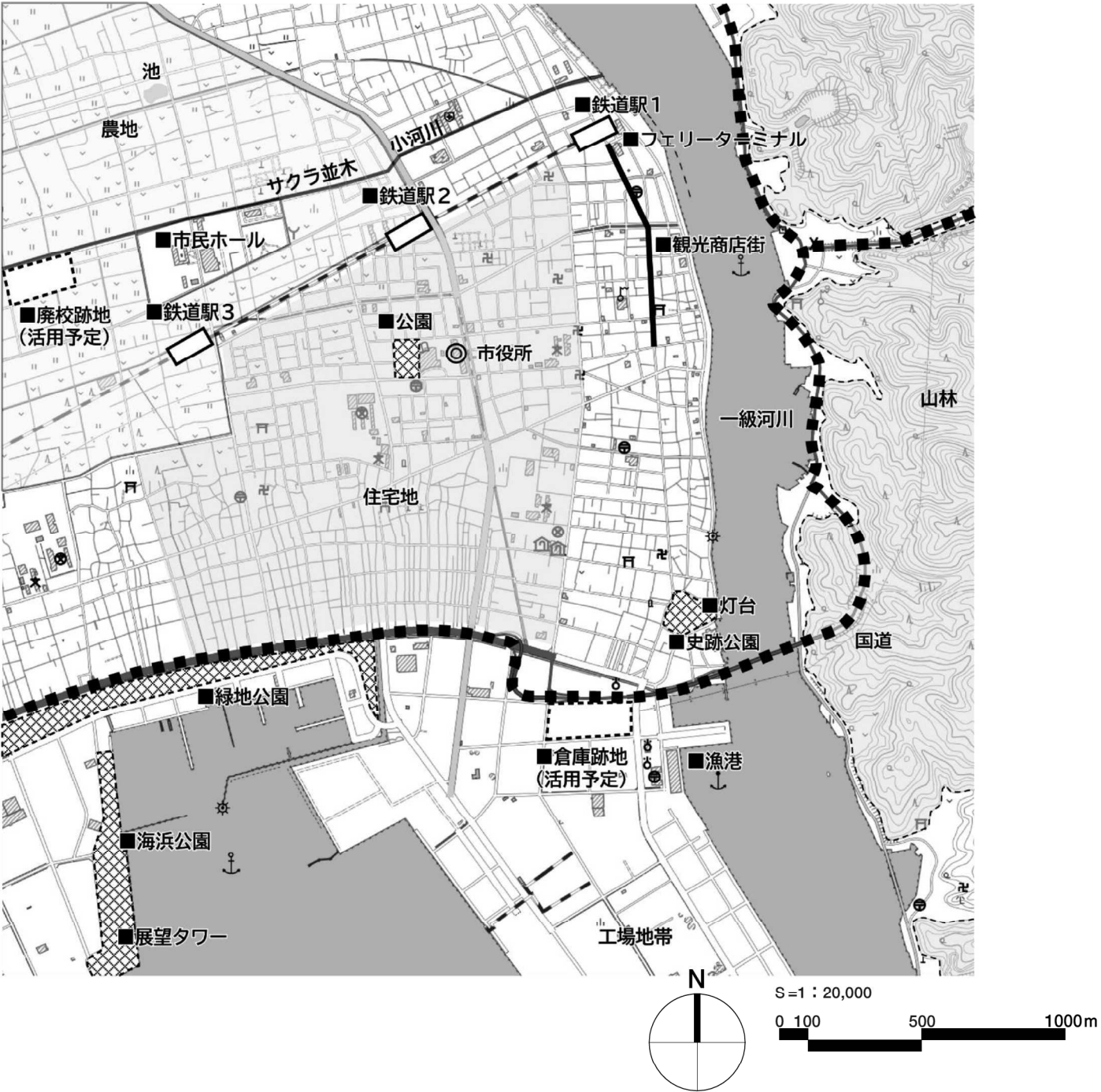
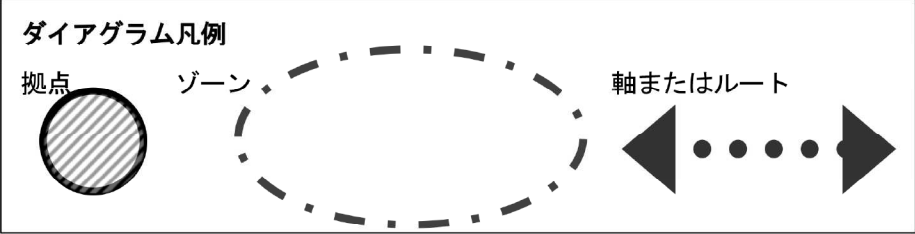
① 出題テーマに沿って、『地域産業や自然資源を活かした、賑わいと交流のあるまちづくり』の方針について、目指す方向性や導入機能を記述しなさい【2項目】

② 地域産業や自然資源を活かした「拠点」を3箇所設定し、それぞれの名称とその整備内容を記述しなさい【3箇所】

③ 出題テーマにつながる「ゾーン」を4箇所設定し、それぞれの名称とその整備内容を記述しなさい【4箇所】

④ 出題テーマにつながる「軸またはルート」を3つ設定し、それぞれの名称とその内容を記述しなさい【3つ】

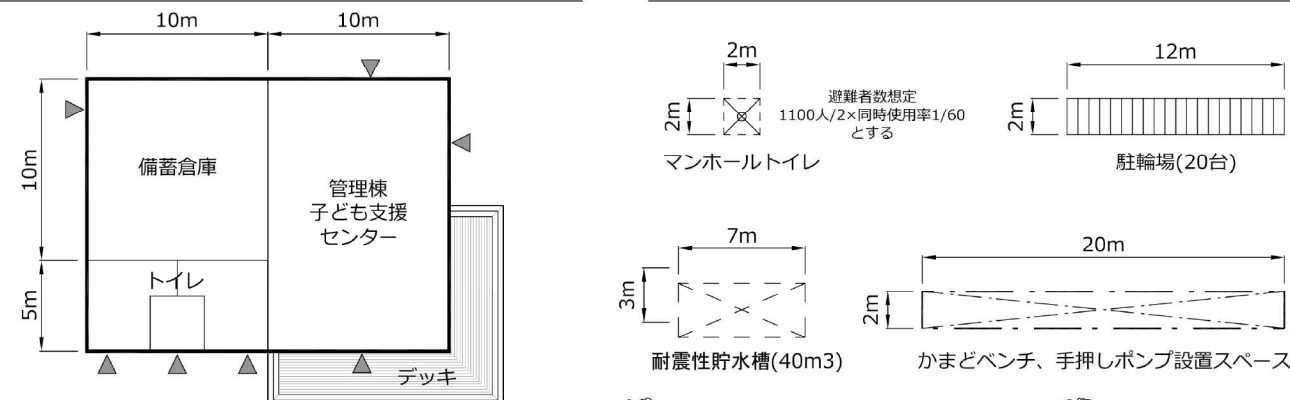
設問 2. 設問 1 で記述した「拠点」、「ゾーン」、「軸またはルート」を、下記の凡例に示す表現をもとに図示し、その名称を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。



No. 1	土地利用ダイアグラム	1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	受験 番号					
	解答用紙	1							

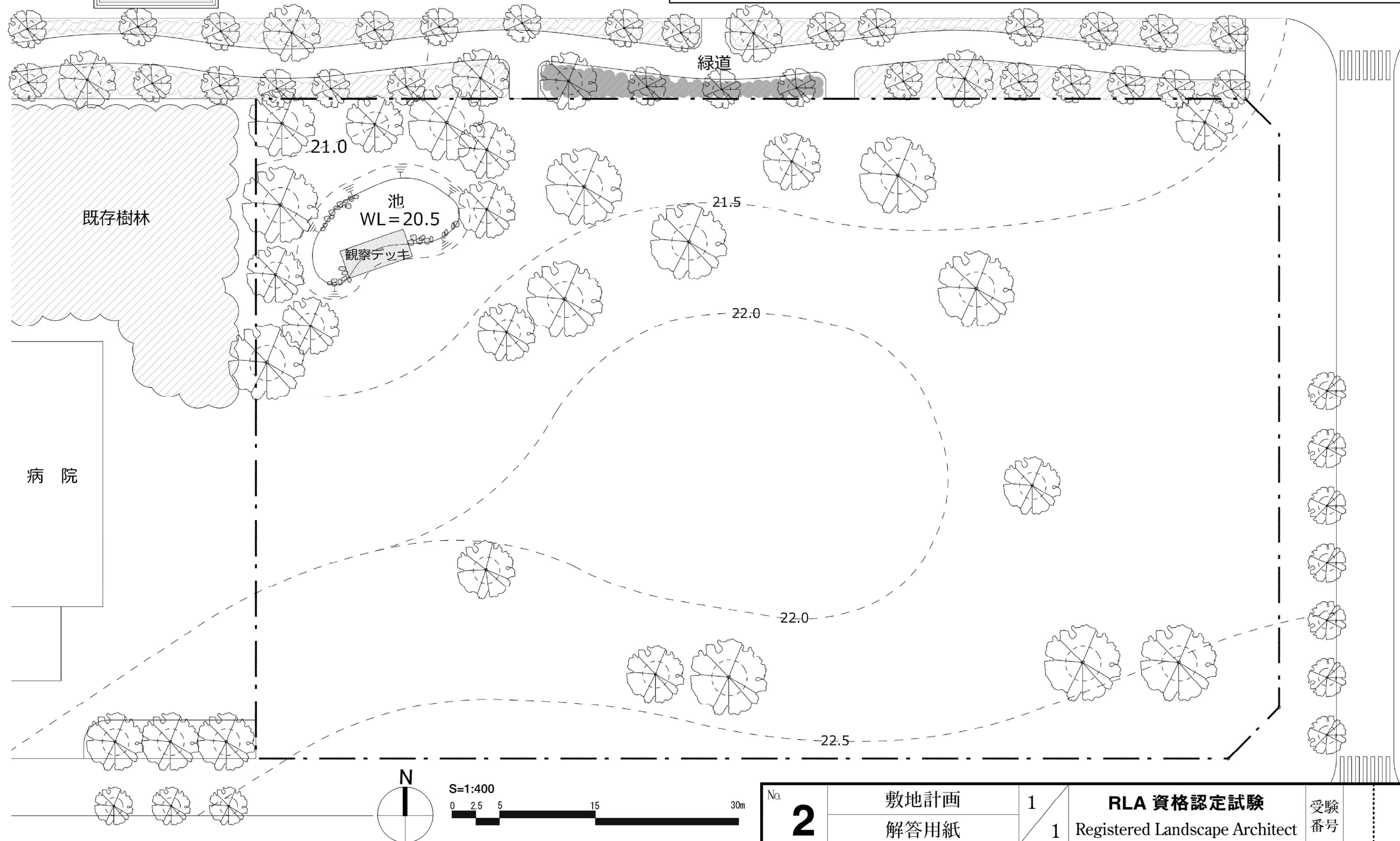
建築棟（平面図）※建築は自由に回転させて良い

凡 例



(計画について配慮した事項)

(施設配置の考え方)



No. 2	敷地計画	1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	受験 番号					
	解答用紙	1							